

広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします

# 宮若 生活

Public Relation Magazine **Miyawaka city**

若宮南小学校を思う一人ひとりの皆さんへ…

*Wakamiya south elementary school is not forgotten.*

## 特集

# ありがとうを 伝えたくて

# 5

2011  
NO.064

# 特集 ありがとうを 伝えたくて

若宮南小学校を思う一人ひとりの皆さんへ…  
*Wakamiya south elementary school is not forgotten.*

Thank You 1 この日吉に惚れて  
Thank You 2 校舎建設を胸懐  
Thank You 3 百周年に感謝して  
Thank You 4 思いを受け継いで

校庭の桜が散る若宮南小学校のグラウンドに子ども達や教職員の姿はありません。  
100年の伝統をもつ若宮南小学校は平成23年3月31日をもって静かにその歴史の幕を下ろしました。  
明治43年の創立以来、子ども達の学舎として、そして地域の拠点としてあり続けた若宮南小学校。今月の特集はそんな歴史の一端を感謝の思いとともに紐解きます。

## 日本人だということを再確認

カルチャーショックでした。平成19年9月、縁あってこの日吉地区で生活を始めました。その次の日が若宮南小学校の運動会と聞いたんです。今後、娘たちが通う小学校でもありますしどんな学校なのか、家族で見に行くことにしたのです。

運動会当日、本当にびっくりしました。最初のカルチャーショックです。児童たちだけでなく、地域の皆さんも一緒に競技に参加しているのですから。地区ごとにテントがあつて、それぞれが宴会のような盛り上がりを見せていました。引越越ししてきたことを話すと、地域の皆さんが持ち寄っている食事を用意してくれて、輪の中に入れてくれたのです。うれしかったと言ふか、ここにきて間違いはなかったと思いました。

これまで福岡市内で生活し、時間に追われ季節の移り変わりにも気が回らない生活をしてきた中で、この日吉では「生きていく」という実感があります。おじいちゃんやおばあちゃんたちが本当にいきいきと生活していること。行事やまつりごとを大切にしている生活を目の当たりして、自分が日本人だったんだということを再確認することができました。今、すべてが効率化を求めていく中で簡略化されることなく、地域文化が守られていることに感動しました。

正月が近づいてくれば玄関に飾り付けるしめ縄をいただき、普段から気にかけていただける。この地域の皆さんの人柄に感動し、やってきた当初はいつもうれし泣きをしていました。

ここに住んでいる皆さんには当たり前のことでも、外から入ってきた私たちには真新しいことばかりでした。日吉にほれて、ここで生活を始めた私たち家族は、新しいふる里を手に入れたのです。

### 感覚が研ぎ澄まされていく

私は『マザートーク』という名前を通して音楽活動を行っている

ます。その音楽活動を通して伝えたいこと。それは「命の大切さ」です。小さいころから音楽をやっていました。娘を出産したとき、めめたのは長女を授かったことがきっかけでした。娘を出産したとき、歌詞がどんどんわき出てるようになったのです。

私自身、小さいころから病弱であったことから「生きる」ということについていつも考えさせられてきました。年齢を重ねてくる内に、半ば子どもを授かることもあきらめていました。そんな生活をしてきた中で、子どもを産むことができたことはとても喜ばしくそして、多くのことを学び伝えたい思いが次から次へと湧いてくるようになったのです。

この日吉で生活をしていくと、これまで以上に感覚が研ぎ澄まされていくことを感じます。山に囲まれているこの地の雪は、とても深いことから春になれば、草木が芽吹いていくのを感じ、夜は夕ケノコが生えてくることで竹が割れる音が山の中から聞こえてきます。そんな日吉の自然にインスピレーションを受けて作った歌があります。タイトルは『花』というのですが、ライブのときに住んでいる所を紹介するときに披露しています。

### 学校の存在

ここで生活を始めて四年が経過しようとしています。若宮南小学校での学校生活はわずか一年でしたが、その一年間は決して忘れられないものでした。確かに学校がなくなってしまうことはさみしいものですし、これからは残していけるものなら通わせたい気持ちもあります。これまで生活してきた中でも、地域の皆さんの活動が小学校を起点にしているように感じているからです。その学校がなくなつたことに対して、不安がないといえはうそになります。

だからこそ、これからこの学校を地域の皆さんとどのように活用し、生かしていくのが大切だと感じます。今日久しぶりに校庭にきましたけど、なんだかとても懐かしく感じます。

こんなよそ者を快く受け入れていただき、そして気にかけて頂いている日吉の皆さんの人柄と自然に感謝して、これからもこの地で私たちがらしく生きていきたいと思えます。

## 花

作詞作曲 mother talk

人の一生は まるで野に咲く花のよう  
その時が訪れたら 必ず芽を出し 花は咲く  
陽当たりがもし悪ければ カラダ伸ばして陽を浴びて  
それぞれの芽吹いた場所から 一度限りの花は咲く

色も形にもおもい ひとつずつ みんなちがう

どんな小さな花でも 誇らしげに咲いてる  
誰に知られるわけでもなく 誇らしげに咲いてる

春の日に咲く花もあれば 冬の寒さに咲く花もある  
どこでいつ咲こうとも みんな それぞれ 美しい

色も形にもおもい ひとつずつ みんなちがう

どんな小さな花でも 誇らしげに咲いてる  
誰に知られるわけでもなく 誇らしげに咲いてる

そして また… 土に還る  
あなたを育てる 土になる あなたが芽を出す 土になる

どんな小さな花でも 誇らしげに咲いてる  
誰に知られるわけでもなく 誇らしげに咲いてる

【中村淳子さん・淳生ちゃん・慈愛ちゃん】

平成19年9月に宮若市に転入し、ご主人と2人の娘さんの4人で生活をする中村さん一家。「若宮南小学校での学校生活は長女淳生ちゃんの1年間でしたが、その1年間に感謝している」と話す中村淳子さん。シンガー・ソングライターとして各地で「命」を考えさせてくれるライブ活動を展開しています。

Special issue ありがとうを伝えたくて  
Thank You 1

# この日吉に惚れて

今から4年前、中村さん一家はこの日吉で新しく生活を始めました。これまで福岡都市圏で生活していましたが、この山紫水明の土地にほれ、転入してきたのです。カルチャーショックの連続だったと話す中村さんの言葉からは日吉の自然、人柄そして学校への思いが詰まっていました。



## 陳情の毎日

当時はこの日吉地域の中でもいろいろな意見がありました。校舎の老朽化により他の学校と統合するべきか、新築すべきか。旧校舎は戦時中に建てられたこともあり、当時の状況から考えても上質な素材が使われたとは思えません。年数を重ねてくるにつれ、老朽化の波が押し寄せていました。昭和54年です。県から危険校舎に指定されたのをきっかけに翌年、若宮南小学校建設委員会が発足し活動を始めました。

その時には地域でも学校建設への思いを一つにしていきました。早速、行政や議会に陳情を行いました。これから数年はただ陳情を繰り返す毎日だったといっても過言ではありません。なかなか取り組みは進みませんでした。当時の児童数が二十人近くであったことから校舎建設は厳しいという判断だったと思います。しかし、当時住んでいる家庭をみると若い人が多かったこともあり、数年後には四十人近くになることを引き続き訴えてきた結果、建設することが次第に実現を帯びてきたのです。

ただ、校舎の用地を確保するには二年ほど時間がかかりました。もともと山間地域であることから適した土地がなかなかありません。そんな中、私を含め地建者の皆さんの協力のもと、現在の場所に建てるのが決まりました。

当時は段々畑があったところなので、本当に学校ができるのかどうか不安でもありました。そんな紆余曲折のち、昭和63年3月。念願の校舎が完成したのです。

## 郷土愛

当時の若宮町の状況を考えても、学校建設はとても大きな事業だったと思います。そのため、校舎は建設することができて、備品などすべてをそろえることは困難な状況でした。私たち建設委員会を始め、地域は子ども達にふびんな思いをさせたくないとい

う思いから卒業生を始め、関係者など多くの皆さんにお願いして備品や遊具を設置する寄付のお願いを始めました。

学校の校庭の隅に「郷土愛」と書かれた石碑があります。ここには学校建設時に協力していただいた皆さんの名前を記しています。この地区のシンボルでもある若宮南小学校。皆さんの並々ならぬ支援が集まりました。こうして新しい学校生活を切ることができたのです。

当時は打ち合わせなど、夕方から委員のみんなが頻りに集まっていた。当然昼は仕事がありますから、今考えてみると忙しい毎日を送っていました。今振り返ってみると、いい思い出の一つでもあります。

そんな若宮南小学校が閉校する話を聞いたときは、やはりさみしい思いが込み上げてきました。学校建設に携わらせて頂いたことで当然愛着がわき、学校の前を通るたびに校舎に目を向け、「いい学校ができたな」と今でも自負しているくらいです。親のような立場として子どもの行く末を心配するのは当たり前ではないでしょうか。でも一方で、当時は児童数が増えるとはいえず、他の学校に比べて少ない児童数を考えれば、何億も使って校舎を建てたことはわがままなことをしたのではないかという思いもありました。

そんな複雑な心境はありますが、私自身は今後どのような使われ方をするのか気がなります。これまで話したように多くの皆さんの郷土愛のもとに立ち上がった学校です。地域の発展につながる取り組みに活用されればいいと思います。

あくまでも個人的な意見ですが、東日本大震災で被災した皆さんの受け入れをしてもいいですし、山村留学の受け入れ先としても十分に使えるのではないかと感じています。

学校の校舎はまだ新しく、そこにはいろいろな可能性を秘めています。今一度、地域の皆さんと一緒にどのようなことができるのか、日吉地区のシンボルの存在である若宮南小学校の校舎の明日について話し合っていきたいですね。



【安田良雄さん】  
当時南小学校建設委員会の委員として奔走。副委員長を務めました。



昭和63年に完成した新校舎を記念して撮影した写真。安田さんは副委員長として尽力しました。(左から2番目)

## 忘れられない1日 教育委員会で過ごした6年間



【高原宮子さん】  
昭和32年に若宮町役場に入庁。その後さまざまな部署をへて学校教育課に配属。当時学校の建て替えや大規模改修の事務を行います。母校でもある若宮南小学校の建築事務にも従事。退職後は民生委員など地域の相談者として活躍しています。

若宮南小学校の思い出といえば、私自身が在籍していたときよりも教育委員会での仕事が真っ先に思い浮かびます。昭和32年に若宮町役場に入り、さまざまな部署を経験する中で、学校教育課に配属したのは6年間程度だったと思います。そのときに若宮南小学校の建設に携わったのです。とにかく大変の一言でした。設計会社の担当とは何度も意見を交換しました。日吉地区は山に囲まれているので昼間でも日が入る時間が短いのです。当時最先端のトップライト式を採用し、天井から採光するシステムで明るい学校生活を送れるように工夫しました。

そして、なんといっても一番苦労したのが会計検査に当たったことでした。事業を行った後にその事務処理が適正に行われたかどうかチェックを行うのが会計検査です。若宮町では過去に学校施設で会計検査に該当したことがありませんでした。そのため、どのような資料をそろえたらいいのか宮田町の担当まで習いに行きました。

会計検査は役場の議事堂で行われました。会計検査院の人の質問に答えながら緊張した1日を過ごしました。無事に終わったときはみんなで喜んだのを覚えています。大変な仕事でしたが今思い返すと充実した6年間でした。

平成10年に退職し、民生委員など地域のお仕事をさせていただきました。若宮南小学校はまだ100年以上は使える立派な校舎です。地域の皆さんのアイデアを出し合って、有効に活用されることを祈っています。

Special issue ありがとうを伝えたくて  
Thank You 2

# 校舎建設を胸懐

若宮南小学校の歴史を語るなかで、はずすことができない出来事といえば、新校舎の建設です。当時は地域の中でもさまざまな意見が渦巻いていたとのこと。当時、地元建設委員会の副委員長を務めた安田良雄さんに話を伺いました。



百周年記念除幕式



ひよしフェスタ



若宮南小学校閉校式

# 百周年に感謝して

明治43年に創立して以来、満百歳を迎えた若宮南小学校。母校を巣立った卒業生は千四百人を超えます。その記念すべき百年を祝うため、そして忘れないための取り組みが行われました。百周年実行委員長の渡辺久和さんと記念誌編集委員会委員長の高橋等さんに話を伺います。

## 心のきずなの強さを実感

「どのように祝い、何を残していくのか。」

若宮南小学校百周年を記念したイベントを実現させるために平成21年10月ごろだったと思います。実行委員を選考する組織



【渡辺久和さん】百周年実行委員長

を立ち上げました。会議を行う時間やどのようなイベントを行っていくのか、地域の皆さんの意見を広く集めていくことを目的に思ったのですが、そのまま選考委員会が実行委員会としてやっていくことになったのです。思っていた以上に時間が足りないこともありました。そのような中から百周年記念事業実行委員会は始まりました。とにかく忙しかったですね。そして限られた予算の中でやっていくことに頭を悩ませていました。運動会と併せ記念碑の除幕。そして、ひよしフェスタ。記念誌の発行の主に三点が主な取り組みとなりました。

そのどの取り組みも私たちがだけの力では実現できるものではなく、本当に地域の皆さんの惜しみない協力により実現することができました。南校が閉校すると聞いた時は「いよいよ来たのか」という思いと、これまで地域の求心力となっていた学校がなくなること地域コミュニティがどうなってしまうのかという不安が交錯しました。二十三年前の新校舎建設にあたり地域の熱意が行政や議会を動かしてきたからこそ、今ここに学校があるのですから。今回も十年前と同様に、南校にゆかりのある人などに寄稿していただきました。三十人を超える皆さんにご協力いただいたことは多くの人に愛されている学校であることを証明しています。その他にも当時の写真をふんだんに取り入れたものとなっています。



百周年記念誌編集委員会委員長【高橋 等さん】

## もう作れない記念誌の重み

地元の方々に記念となるものを残したいという思いが百周年記念誌のコンセプトです。

実は十年前、当時PTA会長をしていた私は創立九十周年事業を担当させていただきました。そのときも記念誌を製作。内心では若宮南小学校が百周年を迎えるのは難しいのではないかと感じていました。児童数の減少もありましたが当時、若宮町では学校再

編について検討していたこともあったからです。その後合併し、宮若市が誕生したことにより、もしかしたら百年を迎えることができるのではないかとという希望が出てきました。南校が閉校すると聞いた時は「いよいよ来たのか」という思いと、これまで地域の求心力となっていた学校がなくなること地域コミュニティがどうなってしまうのかという不安が交錯しました。二十三年前の新校舎建設にあたり地域の熱意が行政や議会を動かしてきたからこそ、今ここに学校があるのですから。今回も十年前と同様に、南校にゆかりのある人などに寄稿していただきました。三十人を超える皆さんにご協力いただいたことは多くの人に愛されている学校であることを証明しています。その他にも当時の写真をふんだんに取り入れたものとなっています。

## 野見山智香子さん

百周年記念式典で見た  
なつかしい光景に  
心が温かくなりました

平成12年度には副会長として活動した野見山さん（写真真ん中）。もちつきの後には豚汁を振る舞うなど裏方として取り組んできました。



児童数が少ないことから子どもが小学校に入学すれば、保護者は全員PTA活動を行っていました。その意味で皆さんとの連携は良くとれていたのではないかと思います。地域の皆さんといろいろな取り組みをしました。ひよしフェスタの前身である学習発表会では午後から母親部のコーラスを披露したり、何かと忙しかったことを思い出します。

月に1度は会議があり、当時は学校で打ち合わせをしては飲食していました。その料理を母親部で作っていましたね。人気があったのが鶏の足を甘辛く煮たもの。おつまみに最高らしいのですが、私は作ったことがありませんでした。

時代と共に、学校で飲食することもなくなっていきましたが、百周年記念式典の宴の様子を見て、なつかしさを覚えました。皆さん、お酒とおちょこを持ってさしたりさされたり。何か古きよき時代の光景に胸が温まると同時に、娘たちが通った学校が無くなることへのさみしさも込み上げてきました。

若宮南小学校の歴史を振り返る創作劇を披露する児童たち。時代をタイムスリップしながら当時の服装や給食、修学旅行や遊び方などを比べながら歴史を振り返りました。



ひよしフェスタに続いて行われた百周年記念式典。来賓や関係者のみならず、地域の皆さんと一緒に盛大にお祝いしました。

Special issue ありがとうを伝えたくて  
Thank You 3

# 思いを受け継いで

若宮南小学校を千四百八十八号と千四百八十九号に卒業した、阿部智也さんと川上達也さん。言うまでもなく若宮南小学校最後の卒業生となります。その二人は若宮中学校という新しいステージで勉強に部活にと汗を流しています。母校が閉校した今、二人はどのような思いを受け継いで学校生活を送っているのでしょうか。広報担当のインタビューを通して特集の最後に若宮南小学校で培ったものに迫ります。

## 南校だからできたこと

—— 小学校を卒業し新しい生活がスタートしました。取材の前に体育館ですばらしい合唱を聞かせていただきました。中学校生活はどうですか。

**阿部智也** 一カ月が過ぎましたけど、とても楽しく学校生活を送っています。今日はブロック合唱といつて一週間、練習してきた成果を発表しました。



学年を縦に割って取り組んできましたが、僕たち一年生だけでは大したことなくても、先輩たちと一緒に歌うと厚みが全然違うんです。すごい迫力です。

**川上達也** 僕も中学校生活を楽しんでいます。小学生から中学生になることに不安がなかった訳でもありません。でも入学してみると楽しく学校に来ることができています。

## 母校の存在

—— 若宮南小学校の学校生活を聞いていると地域の皆さんの存在の大きさを改めて感じます。そんな地域の拠点の機能を持っていた小学校が3月でなくなってしまうと。二人にはどのような思いがありますか。

**阿部** それはさみしいという一言以外に、今は思いあたりません。



—— 小学校では全校児童が六人だったこともあり、学校規模が大きくなったことに驚いたりすることはありませんでしたか。

**阿部** 気にするほどではありませんでした。学校生活も楽しいですし、サッカー部に入部したこともあり充実しています。

**川上** 僕はまだ部活動には入っていませんがサイエンス部に入ろうと思っています。実験などを経験しながらいろいろ勉強をしていきたいです。

—— 二人とも充実した学校生活を送っているようですね。小学

一日五キロを歩いて通っていました。毎朝六時三十分起きていましたがそれでも学校が楽しかったです。今は卒業したばかりなのでなんとも言えませんが、時間がたつという思うことがあるのかもかもしれません。

**川上** 卒業式のちょっと前だったと思うのですが、二人で卒業記念の植樹をしました。南校の伝統でこれまで先輩たちの木もどんどん大きくなっています。それを先輩たちが見ることができないのが残念です。先日、毎年参加している釣り大会で久しぶりに南校のグラウンドに行きました。ちょっと行かない間に草がたくさん生えていたのに驚きました。同時にさみしさもありました。

—— そんな思い出深い母校の好きな場所とかがありますか。

**阿部** 僕はグラウンドです。もともと体を動かすことが大好きなのでいつも南校のグラウンドで遊んでいました。広さといちように感じました。

**川上** 僕は校舎全体を使って遊ぶのが好きでした。

## 受け継いでいくもの

—— では、最後の質問になりますが、若宮南小学校最後の卒業生である二人は小学校生活でどのような思いを受け継ぎ、そしてどのような夢を実現させたいですか。

**阿部** 小学校ではいろいろ学びましたが、みんなで協力して取り組むという、当たり前のようで難しいことを学びました。このことを生かして、中学校でも友達と協力して、勉強に部活動に頑張っていきたいと思っています。自分は将来の夢があります。それはお父さんの仕事を受け継いでいくことです。そのためには苦手な科目にも挑戦していきたいと思います。

**川上** 周囲の人はそんな風には思っていないのかもしれませんが、若宮南小学校の児童でもすごいことができるんだということを見せたいと思います。自分も阿部くんと同じように将来の夢を持っていきます。それは獣医師になることです。きっかけは自分の祖父が獣医師をやっていたことにあります。実現に向けて努力していきたいと思っています。

Special issue ありがとうを伝えたくて Thank You 4

Tomoya Abe

阿部智也さん  
【1,488号卒業生】

「みんなで協力して取り組むこと  
中学校でも友達と一緒に取り組んでいきたい」

Tatsuya Kawakami

川上達也さん  
【1,489号卒業生】

「小さな学校の出身だけれど  
『あっ』と言わせるようなことをしたい」



広報担当がどこにも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

# Miyawaka Watching

## 学校生活がスタート

### ▶ 市内小・中学校で新学期がスタート

校庭の桜が見ごろを迎えた4月8日には市内中学校で、12日には小学校でそれぞれ入学式が行われました。本年度は小学校238人、中学校271人が新1年生として学校生活をスタートさせました。

宮田東小学校では、3月11日に発生した東日本大震災の影響で福島県から新一年生を受け入れることになりました。

大村昭彦校長は、「ふる里を離れてここで学校生活を始めることにご家族の不安ははかりしれないものがあると思いますが、他の児童と一緒に楽しい学校生活が送れるように全力で学校運営に努めていきたい」と、話してくれました。



## あゆ釣りは6月1日に解禁

### ▶ あゆの稚魚放流

4月12日千石峡の野営訓練所前広場で第1保育所児がアユの放流に参加しました。これは八木山川漁業協同組合が漁業資源の保護を目的に、40年前から毎年行っているものです。

29,000匹のアユの放流をお手伝いしたのは第1保育所の28人の園児。体長10センチ程度のアユは元気に泳いでいきました。6月1日にアユ漁は解禁となり、多くの釣り人でにぎわう八木山川。アユのえさとなるコケの養生の影響もありますが、夏には25センチまで成長すること。アユ釣りには遊漁券が必要です。三ヶ畑の光安商店 ☎54・0750）などで販売しています。



## ガンバレ日本 ガンバロウ東北

### ▶ 磯光井戸端会、復興へのメッセージ

毎年磯光の犬鳴川河川敷にこいのぼりを掲げている磯光井戸端会。今年は震災で被災した人が元気になってほしいと土手の斜面の草を刈り込んでエールを表現しています。

草文字を作ったのは磯光井戸端会の会長でもある小林照幸さん。「同じ農業を営んでいるものとして、原発事故でも農地を離れることは簡単なことではありません。苦しい心境を少しでも共有し思いを届けられたらと1日掛かりで仕上げました」。草文字は手入れを行いながら1年間は残すと語る小林さん。この宮若市からのメッセージは被災者の皆さんにもきっと届いていることなのでしょう。



## 市の新しい地区拠点が開館

### ▶ 若宮コミュニティセンター開館記念式典

4月1日、若宮コミュニティセンターで開館記念式典を行いました。式典では愛称「ハートフル」と名付けた金丸地区在住の西尾みどりさんのほか、優秀作品の4人に感謝状と記念品を贈呈しました。

来賓として祝辞を述べた自治会長会副会長の有吉榮一さんは「若宮庁舎お別れ式から4カ月でこんな素晴らしい施設が完成したことは感無量の一言に尽きます」と喜びを語りました。

若宮コミュニティセンター「ハートフル」は図書室や健康増進室、そして多目的ホールなどを備えており、宮若市第1次総合計画の重点プロジェクトにも掲げている地区拠点です。

## 演じる人、支える人、客席が1つに

### ▶ 宮若レインボーカンパニー第5回定期公演

4月3日、宮田文化センターで劇団宮若レインボーカンパニーの定期公演が行われました。市民劇団として5年目を迎える宮若レインボーカンパニー。今回は台詞も多く、これまでにはない、難しい題材

を取り扱った舞台となりましたが、ひたむきに伝えようとする団員の熱意はこれまで以上の気迫あふれるものでした。

公演後には東日本大震災の募金活動を行い、被災地の皆さんにも元気と勇気を届けてくれそうです。



## 我が家の愛とる。

宮若市 我が家の愛とる 検索 🔍

市内にお住まいで、満3歳までの宮若っ子を募集しています。6月生まれで掲載を希望する人は、5月13日迄までに本庁秘書広報係、支所市民グループまでお申し込みください。

また、これまで広報に掲載した写真についても返却を行っています。希望者はお問い合わせください。ただし、本庁秘書広報係のみの対応となります。



きたむら うるは  
北村 麗羽ちゃん  
H 22年5月16日生  
(磯光)

1歳のお誕生日おめでとう♡笑顔のかわいい女の子に育ってね！♡ままとばばより♡



くにふさ なるみ  
國房 大海ちゃん  
H 22年5月18日生  
(本城)

にゃんにゃん！すてきな365日をありがとう。これからもかわいい笑顔で癒してね♡



くぼ るいき  
久保 瑠生ちゃん  
H 22年5月15日生  
(上大隈)

1歳のお誕生日おめでとう。これからも元気に仲良くあそんでね！！



くみさこ しおん  
久見迫 心音ちゃん  
H 22年5月27日生  
(龍徳)

1歳のお誕生日おめでとう。これからもかわいい笑顔で癒してね♡



くはら めい  
桑原 萌依ちゃん  
H 22年5月17日生  
(沼口)

1歳のお誕生日おめでとう。これからも元気にいっぱい遊ぶの楽しみにしています♡



さとう りあ  
佐藤 璃愛ちゃん  
H 21年5月18日生  
(宮田)

2歳のお誕生日おめでとう、りいちゃん♡おしゃべりが止まらない食欲旺盛のりいちゃん。これからもますます成長してね♡



はった のえ  
八田 希絵ちゃん  
H 22年5月13日生  
(水原)

☆Happy Birth Day☆これからも得意のいないないダァ！で笑わせてね。



まつもと りょうや  
松本 稜矢ちゃん  
H 22年5月10日生  
(本城)

稜ちゃん、1歳のお誕生日おめでとう。☆これからもたくさん笑って遊んで健康に育ってね☆

平成23年度

効率的な行政運営と住民サービスの向上へ

# 業務連携強化へ、組織再編と人事異動

4月1日に発令となった組織再編と人事異動。税務収納課や子育て・人権課など業務の連携強化を図っています。係長以上の職員と事務室配置を併せて紹介します。

## 組織再編と人事異動のポイント

4月1日発令

- 1 税務課と収納対策課を再編し、税務収納課を設置
- 2 市民課と保健福祉課を再編し、市民課を設置
- 3 子育て支援課と人権福祉課を再編し、子育て・人権課を設置
- 4 社会教育課の文化振興係を図書館・文化振興係に機能強化



市長	有吉哲信
副市長	向井敏博
総務企画部	
総務企画部長	山内賢治
総務企画部次長	山本和久
総務企画部 総務課	
課長	山本和久(兼務)
課長補佐	白土成人
総務グループ係長	宮原真由美
秘書広報係長	齊藤 潔
防災安全係長	白土成人(兼務)
情報推進係長	吉田哲也
総務企画部 企画財政課	
課長	大五裕之
課長補佐	吉村浩子
企画調整係長	吉村浩子(兼務)
まちづくり推進係長	荒牧裕次
財政係長	野田哲也
総務企画部 管財課	
課長	本田克也
課長補佐	長浜裕一
財産管理係長	大谷祐輔
契約係長	長浜裕一(兼務)

議会事務局	
議会事務局長	伊藤清文
課長補佐	尾藤康弘
議会係長	尾藤康弘(兼務)
産業建設部	
産業建設部長	大塚和幸
産業建設部次長	和田 修
産業建設部 建設課	
課長	梶原紀博
維持係長	有吉智和
建設係長	青木幸雄
用地係長	中川洋一
産業建設部 商工観光課	
課長	藤井吉位
課長補佐	吉崎淳一
商工観光係長	吉崎淳一(兼務)
企業誘致係長	竹田和彦
監査事務局	
監査事務局長	塩川好喜
監査事務局係長	奈木野広幸



総務企画部 市民生活課	
課長	本田光生
課長補佐	豊福和久
市民係長	小南裕史
国保年金係長	豊福和久(兼務)
民生部	
民生部長	和田英樹
民生部 健康増進課	
課長	石原達也
課長補佐	川内彰則
障害者福祉係長	奈木野哲也
老人福祉係長	川内彰則(兼務)
(介護保険広域連合派遣)	
課長補佐	本丸伸司
総務企画部 税務収納課	
課長	松本信義
課長補佐	谷口 忠
市民税係長	井川健一
資産税係長	武谷伸治
収納・滞納対策係長	谷口 忠(兼務)

## 効率的な行政運営を行うために組織を再編

4月から平成23年度がスタートしました。宮若市では新年度が始まったと同時に4月1日付で人事異動の発令を行い、これと併せてより効率的な行政運営を行うため、一部組織の再編を行いました。

本庁舎一階では、これまで税務課と収納対策課がありました。税務課が市民税や固定資産税などの税額を決定し、収納対策課が税金の収納と滞納対策を行ってききましたが、より綿密な連携を図るために一つの課に統合し、事務能率の向上に取り組んでいくこととなります。

また、同じように民生部の中では子育て支援課と人権福祉課を再編し、子育て・人権課を新設。行政機能のスリム化を図っています。子育て・人権課では、子育て環境の充実に力を入れていくとともに、昨年度に策定しました宮若市男女共同参画基本計画の推進などにも取り組んでいくこととなります。

会計課	
会計管理者	神谷信幸
会計課長	神谷信幸(兼務)
課長補佐	森田秀樹
会計係長	安永美香
水道課	
課長	山口 享
課長補佐	柴田伸幸
業務係長	柴田伸幸(兼務)
給水係長	宗岡雅人
浄水係長	柿原義博
民生部 環境保全課	
課長	本松伸二
課長補佐	和田靖男
環境衛生係長	関岡雄二
環境対策係長	和田靖男(兼務)
産業建設部 下水道課	
課長	清水勝俊
課長補佐	中野正志
下水道係長	吉村保彦
管理係長	谷口公成
産業建設部 建築都市課	
課長	吉村和磨
課長補佐	清水建一郎
建築係長	牛島博人
住宅管理係長	清水建一郎(兼務)
都市計画係長	塩川順一
民生部 子育て・人権課	
課長	有吉光彦
課長補佐	松尾竜彦
児童母子福祉係長	有川淳子
子育て支援係長	伊藤満子
人権福祉係長	関岡正治
民生部 保護課	
課長	篠崎文親
課長補佐	有田勇二
事務係長	和田 浩
保護1係長	寺本卓史
保護2係長	花井秀俊



若宮コミュニティセンター  
「ハートフル」

総務企画部 市民課	
支所長	草場和義
市民グループ係長	飯野雅美
	井田繁幸
福祉グループ係長	豊福德光



行政窓口機能をもつ若宮コミュニティセンター「ハートフル」。今年の4月からグランドオープンとなりました。舞台と客席が可動式の多目的ホールも備えています。

▲ 正面玄関

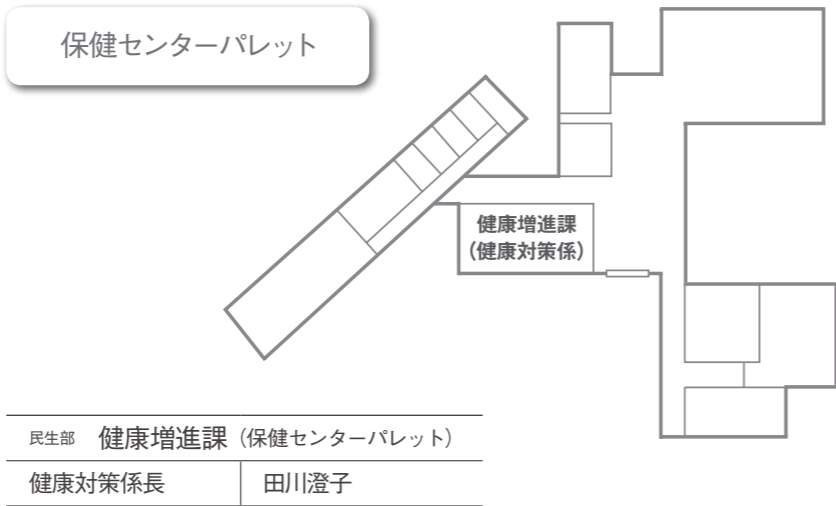
平成22年度退職者

3月31日、本庁議場で退職者の辞令交付を行いました。平成22年度をもって退職するのは16人の職員です。長年のお勤めお疲れ様でした。



部長	有吉武雄
支所長	村山 徹之補
局長	松元 満
保育所長	吉良悦子
課長	宮崎正則
課長	本田武直
局長	黒山修一
課長	松井康博
課長	塩川利一
課長補佐	松尾博司
課長補佐	吉崎栄次
課長補佐	山見嘉昭
課長補佐	齊藤重臣
係長	野見山 隆夫
園長	加留部 ちず子
係長	毛利由喜子

保健センターパレット



民生部 健康増進課 (保健センターパレット)
健康対策係長 田川澄子

若宮総合支所は  
市民課に再編

社会教育課では、これまで社会教育・公民館係で事務を行っていましたが、図書館建設事務をこれまでの文化振興係と再編し、図書館・文化振興係として機能強化を図っています。

平成24年度中に開館を予定している図書館を核とする生涯学習拠点施設の建設をこれまで以上に推進していくものです。

4月から開館しました若宮コミュニティセンター「ハートフル」。健康増進を備えた健康増進室や講演会などを行うことができる多目的ホールを有する複合施設となります。この若宮コミュニティセンター内の行政機能として引き続き、若宮総合支所を

設置しています。

これまで以上に効率的な行政運営を実現するため、総合支所における行政機能を再編し、若宮地区における市民の皆さんの総合的な窓口として、本庁と連携を強化していくことが求められます。

そのため、市民課と保健福祉課を市民課に再編し、行政運営における一体性の保持と意思決定のスピード化を図っています。

また、若宮総合支所は、今までと同様の手続きや行政サービスが受けられるほか、若宮コミュニティセンターの貸し館業務も行うこととなりますのでお気軽にお問い合わせください。

今後も、組織のスリム化を行いながら、市民の皆さんにとって利用しやすい組織を構築していきます。

幼稚園・保育所・認定こども園

	第1保育所 「宮若市宮田123番地1」 所長 村田美奈子
	第2保育所 「宮若市磯光1610番地1」 所長 平井好江
	第3保育所 「宮若市磯光565番地」 所長 吉良悦子(再任用)
	宮田南幼稚園 「宮若市宮田3461番地」 園長 松尾郁恵
	宮田北幼稚園 「宮若市龍徳1464番地」 園長 北崎美恵子
	宮田東幼稚園 「宮若市磯光551番地」 園長 古森直子
	緑ヶ丘幼稚園 「宮若市磯光1888番地6」 園長 有吉文香
	笠松幼稚園 「宮若市下有木837番地」 園長 長野美津子
	若宮幼稚園 「宮若市竹原5番地1」 園長 麻生秀子
	吉川幼稚園 「宮若市脇田395番地1」 園長 古野優子
	認定こども園さくら幼児園 「宮田東幼稚園・第3保育所」 園長 古森直子(併任) 副園長 吉良悦子(再任用・兼務)

学校教育課



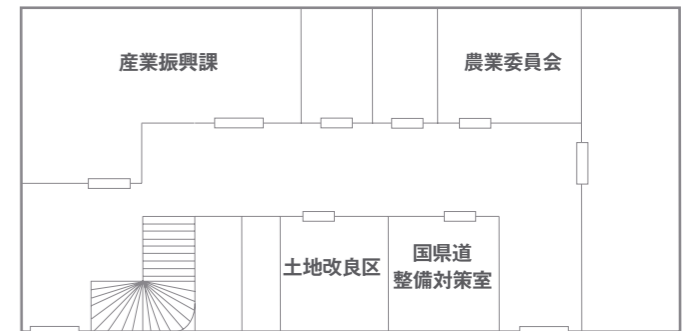
別館「教育委員会」

教育長	有吉宏昭
教育部	
部長	山中敏範
教育部 学校教育課	
課長	灘波千明
指導主事	下田和子
管理係長	東 雅也
学校教育係長	福原千津
教育部 社会教育課	
課長	吉田順一
課長補佐	菊池賢豪
社会教育・公民館係長	舌間 悟
スポーツ振興係長	榎本啓司
図書館・文化振興係長	清水範行
教育部 学校給食課	
課長	筒井義美
学校給食係長	豊福秀頭

別館3  
2階



別館3  
1階



産業建設部 産業振興課	
課長	木下省二
課長補佐	伊藤 剛
農業土木係長	福田 治
農業振興係長	伊藤 剛(兼務)
国土調査係長	松井秀臣
農業委員会事務局	
農業委員会事務局長	後藤 寛
農業委員会事務局課長補佐	北崎守孝
農業委員会事務局係長	北崎守孝(兼務)
産業建設部 国県道整備対策室	
室長	春田政男
国県道整備対策室課長補佐	篠崎正幸
国県道整備対策係長	篠崎正幸(兼務)



みやわか M for More Info

市営住宅・県営住宅空家入居者募集

### 住まいにお困りの人に朗報です 市営・県営住宅入居者募集

●問い合わせ 本庁住宅管理係 ☎ 32・0955  
筑豊県営住宅管理事務所 ☎ 0948・21・3232

**市営住宅入居者募集**

● 受付期間 5月2日(日)から13日(金)まで

● 申込書配布場所 ▼本庁住宅管理係▽支所市民グループ

● 募集団地 ▼勝負尻団地  
Ⅱ一戸・単身可

▼和の里団地Ⅱ一戸

▼矢萩団地Ⅱ一戸

▼あけぼの団地Ⅱ一戸

▼陽の浦団地Ⅱ一戸

▼新成団地Ⅱ二戸・単身可

▼鍋田団地Ⅱ一戸

▼乙野団地Ⅱ三戸・内一戸単身可

※募集団地や戸数は災害発生などで変更になることがあります。また、東日本大震災の影響により資材が不足しているため、部屋の修繕が遅れることもあります。

● 申込資格 ①Ⅱ市内に住んでいるか、勤めている所がある人

②Ⅱ同居している親族がある人、同居しようとしている親族がある人(単身での申し込みの場合は、①、③、④、⑤、⑥の条件を満たし、独立した生計を営

● 受付期間 6月1日(日)から9日(金)まで

● 募集団地 県内に所在する県営住宅

※対象団地や募集戸数などは募集案内書に掲載しています。

● 申込書配布場所 ▼本庁住宅管理係▽支所市民グループ

● 公開抽選会 6月下旬(予定)

**県営住宅入居者募集**

● 受付期間 6月1日(日)から9日(金)まで

● 募集団地 県内に所在する県営住宅

※対象団地や募集戸数などは募集案内書に掲載しています。

● 申込書配布場所 ▼本庁住宅管理係▽支所市民グループ



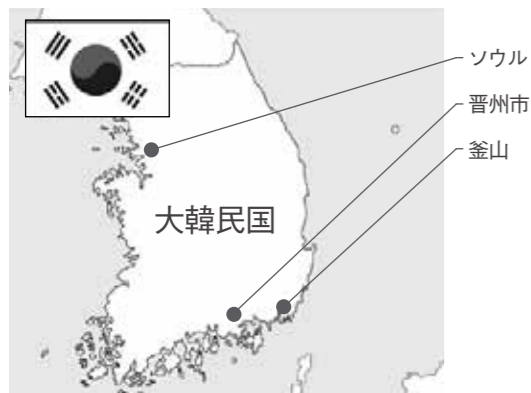
みやわか M for More Info

国際交流活動事業

### 忘れられない思い出を作ませんか 韓国晋州東中学校国際交流

●問い合わせ 本庁議会事務局 ☎ 32・1135

応募先・問い合わせ



郵便番号823-0011 宮若市宮田29番地1  
宮若市議会事務局  
☎32・1135  
FAX 32・0523  
※ 事前説明会や研修は6月上旬に予定しています。

**三** 年前から行っている、宮若市の中学生と韓国晋州東(チンジュン)中学生との国際交流活動事業。今年で4回目の取り組みとなります。両国の中学生がともに活動することによって、お互いの文化や歴史にふれあい、それぞれの国の良さを知り、豊かな国際感覚を兼ね備えた事業としてこれまでの参加者から大変好評をいただいています。

● とき 8月17日(日)から19日(火)まで

※当初は8月23日(日)から25日(火)までとなっていました。変更になりました。

● 訪問地 韓国ソウル市内(予定)

● 参加資格 宮若市内中学校生

● 申込方法 市内各中学校に申込用紙を備え置きしてありますので、用紙記入の上、5月13日(金)までに申し込みください。

● 申込場所 宮若市議団国際交流実行委員会事務局(議会事務局)に申込用紙を持ってくださるか郵送、ファクスで申込みをお願いします。(ファクスの場合は後日、原本の提出をお願いします)

● 参加費 三万円(交通費・宿泊費・食事・保険などを含まず)

● 申込方法 市内各中学校に申込用紙を備え置きしてありますので、用紙記入の上、5月13日(金)までに申し込みください。

● 定員 二十五人(男子十二人、女子十三人)

※応募者多数の場合は、地域などを考慮しながら主催者側で調整します。

● 参加費 三万円(交通費・宿泊費・食事・保険などを含まず)

● 申込方法 市内各中学校に申込用紙を備え置きしてありますので、用紙記入の上、5月13日(金)までに申し込みください。

# Miyawaka M for More information

皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです

みやわか・もっと市政情報



みやわか M for More Info

東日本大震災義援金

### 東日本大震災義援金の報告

●問い合わせ 本庁人権福祉係 ☎ 32・0516



4月16日、天神中央公園で行った東日本大震災復興支援チャリティ物産展には、

● 救援物資に関する問い合わせ 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 ☎ 0948・21・4911

また、すでに救援物資提供の申し出をいただいている皆さんには、今後の被災地の状況を確認した上で、連絡をさせていただきます。

### 東日本大震災復興支援チャリティ物産展を行いました

3月11日に発生した東日本大震災は発生から一カ月以上が経過した今も被害の全容が見えてきません。いまだに余震が続く中、被災された皆さんは復興にむけて着実に歩みを進めています。市には多くの皆さんからの義援金が寄せられています。4月7日現在に寄せられた金額をお伝えします。

● 金額 七百七十九万三千二百六円

※義援金の受け付けは引き続き行います。本庁舎、若宮コミュニティセンター「ハートフル」、中央公民館、中央公民館若宮分館で受け付けています。

● 寄贈金額 百六十三万五千三百三十五円

**救援物資提供の一時停止**

被災した県では、当面必要な物資の確保ができる見通しとなったことから、救援物資の受け入れを一時停止することとなりました。これまで寄せていただきました皆さんありがとうございます。

また、すでに救援物資提供の申し出をいただいている皆さんには、今後の被災地の状況を確認した上で、連絡をさせていただきます。

● 救援物資に関する問い合わせ 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 ☎ 0948・21・4911



みやわか M for More Info

学校再編

### (仮称)東地区中学校、西地区中学校の校名を募集します

●問い合わせ 本庁学校教育課管理係 ☎ 32・1007

**平** 成25年4月に新たに開校する(仮称)宮若市立東地区中学校と西地区中学校の校名を募集します。新しい中学校にふさわしい校名をお待ちしています。

● 応募資格 本市に住んでいる児童生徒を含め、市内在住、在勤のほか、市外の皆さんからの応募もお待ちしております。

● 募集対象学校 ▼「宮田中学校」と「宮田光陵中学校」の再編による新設校の校名

▼「若宮中学校」と「宮田西中学校」の再編による新設校の校名

※募集する校名案の基準は、わかりやすい校名であること。また、地域の歴史や文化に親しみのある校名であること。学校の発展と生徒の健やかな成長を願う校名であること。

● 応募方法 ▼宮若市役所公式ホームページの応募用紙や宮若市役所、教育委員会に用意している応募用紙にご記入ください。応募用紙一枚につき、新設校二校分の校名案を記入していただくことになります。

▼応募にあたっては住所、氏名、年齢、電話番号、校名に対する思いをご記入ください。

▼応募は直接持ってきていただくか、封書による郵送、ファクス、電子メールのいずれかでお願います。なお、電子メールの応募の場合は表題を「学校名応募」とお願いします。

● 応募締切 6月30日(日)まで

● 選定方法 新設校の校名については、応募のあった校名案の中から選考もしくは応募のあった校名案を参考に、準備委員会のなかで協議し選定します。

● 結果発表 広報みやわか、宮若市公式ホームページなどで公表を行う予定です。

● 応募・問い合わせ  
郵便番号823-0011  
宮若市宮田29番地1  
宮若市教育委員会学校教育課管理係  
☎32・1007  
FAX 32・1047  
Email gakyukyanri@city.miyawaka.lg.jp

宮若市 校名募集 検索

障害年金加算改善法	合併処理浄化槽補助金	生ごみ処理機器購入費補助金	国民健康保険税
-----------	------------	---------------	---------

みやわか M for More Info

平成23年度「サタデー・ピア・スクール」

### 基礎学力向上へサタデー・ピア・スクール開講

●問い合わせ 本庁学校教育係 ☎ 32・1007

#### サタデー・ピア・スクール日程表

トヨタサイエンススクールでは子どもたちに「ものづくりの大切さ」や「科学の楽しさ」を伝え、創意工夫を引き出し、ものづくりに取り組む姿勢をはぐくみます。

1学期	2学期	3学期
5月28日(土) 開講式	9月10日(土) 地域交流・宮田隣保館のみ	平成24年1月14日(土) 1月28日(土)
6月11日(土) 6月25日(土)	9月11日(日)(トヨタサイエンス) なびき・パレットのみ	2月4日(土) 2月25日(土)
7月9日(土) なびき・パレットのみ	9月24日(土) 10月8日(土) 10月22日(土)	閉講式
7月10日(日)(トヨタサイエンス) 地域交流・宮田隣保館のみ	11月12日(土) 11月26日(土) 12月10日(土)	

## 市

では、学力向上プロジェクトEの事業の一つとして、小学校四年生、五年生、六年生を対象にサタデー・ピア・スクールを開講しています。サタデー・ピア・スクールでは、「読み」「書き」「計算」の基礎学力と自学自習や基本的学習習慣の確立を目指します。本年度はトヨタ自動車九州の協力を得て、科学の実験を体験できるサイエンススクールも行います。

5月28日より開講することから、参加を希望する人は、在学している小学校へお問い合わせください。

●ところ ▼地域交流センター▼宮田隣保館▼なびきホール▼保健センターパレット

※参加者には保険に加入していただきます。保険は「スポーツ安全保険」で保険料は一人につき六百円です。期間は5月から2月までの年間十五回です。

みやわか M for More Info

福岡県安全・安心まちづくり団体事業補助金

### 地域防犯活動を応援します 安全・安心まちづくり団体事業補助金【福岡県版】

●問い合わせ 本庁防災安全係 ☎ 32・0511

#### 補助金申請内容

区分	内容
補助対象事業	地域防犯活動に取り組むにあたって、その活動開始時に要する経費 パトロール活動に必要な帽子やベスト等の資機材 防犯研修会の講師謝金 看板設置などの広報啓発費など
補助対象団体	地域防犯活動を開始しようとする団体や活動を充実し防犯活動に取り組む団体など(自主防犯グループ、自治会、PTA、ボランティア団体など)
補助限度額	100,000円

## 安

全・安心まちづくりを進めていくためには、警察力の強化だけではなく、地域住民の皆さんが警察や行政、関係機関と連携し、一体となって自主的な防犯活動に積極的に取り組むことが重要です。

そこで福岡県では地域防犯活動を開始する団体に対して立ち上げを支援することなどにより、県内の地域防犯活動の拡大や定着を図り、活動の一層の活性化をはかるために、安全・安心まちづくり団体への事業補助を行います。

市内事例として、百合合

●募集時期 5月31日(木)まで

※申請への詳しい内容はお問い合わせください。

みやわか M for More Info

障害年金加算改善法

### 障害年金加算改善法により 児童扶養手当の受給対象が拡大します

●問い合わせ 直方年金事務所 ☎ 22・0891  
本庁児童母子福祉係 ☎ 32・0517

## 障

青年年金加算改善法の施行により、4月から障害基礎年金における子の加算の運用が変わります。このため、支給対象児童の児童扶養手当額が障害基礎年金の子加算額を上回る場合、その児童については子加算の対象としないこととし、児童扶養手当を受給することが可能となります。

ただし、一人の児童について、児童扶養手当と障害基礎年金の子の加算の両方を受け取ることができません。児童が複数いる場合には、児童ごとに児童扶養手当額と障害基礎年金の子加算額を比較して、いずれかを受給することとなります。

3月までは…

受給権発生時にすでに受給権者によって生計を維持している配偶者やお子さんがいる場合には、受給権発生時から加算の対象となっていました。

4月1日より前の時点で、受給権発生後に受給権者に

よって生計を維持する配偶者やお子さんを有することになった場合には、法施行時から加算の対象となります。(3月31日の生計維持関係を確認します)

4月1日以降に、受給権発生後に受給権者によって生計を維持する配偶者やお子さんを有することとなった場合は、その事実が発生した時点から加算の対象となります。(婚姻や出生などの事実が発生した日の生計維持関係を確認します)

児童扶養手当と障害基礎年金の子加算の間で受給変更ができる場合	両親の一方が国民年金または厚生年金法1級相当の障害の状態にあり、配偶者に支給する児童扶養手当と障害基礎年金子加算で変更できます。
児童扶養手当と障害基礎年金の子加算の間で受給変更が出来ない場合	母子世帯や父子世帯の方は、児童扶養手当と障害基礎年金の子加算で受給変更ができません。

みやわか M for More Info

合併処理浄化槽補助金

### 合併処理浄化槽補助金の受け付けを行います

●問い合わせ 本庁下水道課管理係 ☎ 32・3159

## 合

併処理浄化槽を設置した人に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。

●補助対象 ▼主に住むための建物であること▼小規模店舗などを併用した住宅の場合、延床面積の二分の一以上が居住の用に供する建物であること

※本年度以前に竣工したもののや年度をまたいだ設置工事は助成の対象となりませんのでご注意ください。

区分	補助金	備考
5人槽	332,000円	延床面積130平方メートル未満
7人槽	414,000円	延床面積130平方メートル以上
10人槽	548,000円	併用住宅・2世帯住宅など

場場合は、使用開始から三カ月から五カ月の間に、本来の性能を有しているかを検査するための法定検査受検が義務付けられています。

また、すべての浄化槽には、定期的な保守点検や清掃に加え、浄化槽の保守点検や清掃などが適正に行われているかどうかを確認するための第三者機関による法定検査受検が年一回義務付けられています。(法定検査には、七条検査と十一条検査があり、いずれも指定検査機関が行います)

浄化槽協会では、浄化槽のことや法定検査制度などについて理解を深めていただくため、出前講座を行っています。

希望がありましたらお問い合わせください。

●問い合わせ ▼福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 ☎ 0948・21・4975(財)福岡県浄化槽協会 ☎ 092・947・1800 ▼福岡検査センター ☎ 092・947・6123 ▼筑豊検査センター ☎ 0947・45・6102

法定検査を受けていますか

浄化槽を新しく設置した

出前講座を行っています

### 第33回さつき花季展示会

会場ではチャリティーバザーも行います。売上金は宮若市社会福祉協議会へ寄付を行います。

- **とき** 5月28日(土)から30日(日)まで、午前8時30分から午後6時まで(最終日は4時まで)
- **ところ** マリーホール宮田
- **問い合わせ** 宮田さつき愛好会 ☎32・8501



### 宮若市ビーチボールバレー大会出場チーム募集

- 今** 回で六回目となるビーチボールバレー大会。出場チームを募集します。
- **とき** 6月12日(日)、午前8時30分集合、9時開会式
  - **ところ** 宮田B&G海洋センター、旧鞍手商業高校、宮田中学校
  - **参加資格** 市内在住か在勤の人
  - **チーム編成** 一チーム四人以上
  - **募集種目** 成人男子の部、成人女子の部、成人男女混合の部(成人男女各二人)、親子の部(成人男女各一人、小学生一人)
- ※応募状況によっては開催場所を変更することがあります。
- **申込締切** 5月20日(金)、午後5時まで
  - **申込方法** 希望者に申込用紙をファクスで送付します。電話の申し込みはできません。
  - **代表者会議** 6月2日(日)、午後7時より中央公民館学習室で行います。必ず出席をお願いします。
  - **問い合わせ** 本庁スポーツ振興係 ☎32・0123

### 宮若市高齢者大学受講者募集

- 60** 歳以上の市内在住の人で、全期間受講できる健康な人を募集します。
- **定員** 百五十人程度
  - **とき** 6月23日(日)から平成24年3月8日(日)まで
  - **受講料** 7月から平成24年2月まで毎月五百円です。その他社会見学、実習教材費などの一部は受講生の負担となります。
  - **学習内容** 希望選択の専門講座で編成し、10月には、社会見学を行います。専門講座の開催日は原則木曜日となります。
  - **講座名** ▼ゆっくり体操講座(おむね70歳以上) ▼定員 四十人 ▼講師 川崎政子さん ▼時間 午前10時から正午まで ▼会場 マリーホール宮田

最後の閉講式にはそれぞれの活動を発表。写真はゆっくり体操講座を受けた皆さんの学習成果です。



5つの講座を用意している高齢者大学。あなたの参加をお待ちしています。

- **申し込み** 希望講座の申込書に記入し、提出してください。申し込みが多数の場合は抽選となります。電話申し込みはできません。
- **受講決定者のみ案内のハガキを送ります。**
- **問い合わせ** 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123
- **開講式** 6月23日(日)、午前10時から
- **ところ** 中央公民館
- **申込方法** 5月6日(金)から31日(日)までに中央公民館や中央公民館宮若宮分館にある申込書に記入し、提出してください。
- **申し込み** 申し込みが多数の場合は抽選となります。電話申し込みはできません。
- **受講決定者のみ案内のハガキを送ります。**
- **問い合わせ** 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123

## 宮若いきいきスポーツクラブ5月事業参加者募集

昨年度は会員215人、各種の教室や大会合わせて14事業を行い、1,500人を超える参加がありました。「いきいきスポーツクラブ」は、スポーツを楽しみながら、健康で明るく、充実した生活を送っていただくためのお手伝いをさせていただくことを目的に活動をしています。詳しい内容についてはいきいきスポーツクラブ事務局 ☎34・7650や本庁スポーツ振興係 ☎32・0123にお問い合わせください。

### キャッチフレーズは「いつでも・どこでも・だれでも」

内容	とき・ところ	会費
<b>卓球教室</b> 初めての人も、基本から指導します。8日間の教室が終わったあと、さらに続けたい人は2つの卓球クラブに参加して続けていくことができます。	● <b>とき</b> ▷5月9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)▷6月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)、午後7時30分から2時間 ● <b>ところ</b> B&G海洋センター ● <b>申込締切</b> 5月6日(金)まで	● <b>会員</b> ▷小中学生=無料 ▷高校生以上=200円 ● <b>会員外</b> ▷小中学生=200円▷高校生以上=400円(保険料は別途徴収します)
<b>健康体操教室</b> フリーインストラクター伊賀春乃さんから、健康づくりや体力維持のためのエアロピクス、リズム体操やストレッチ、筋力を高めるトレーニングなどの指導を受けます。	● <b>とき</b> ▷5月26日(日)、午後1時30分から2時30分まで ● <b>ところ</b> B&G海洋センター ● <b>申込締切</b> 当日の受け付けとなります。	● <b>会員</b> 600円(1カ月) ※会員外で参加する人はクラブに加入していただくこととなります。
<b>新緑ウォーク</b> 新緑がかおる野山を散策し、仲間と親睦を深めることにより、いっそう健康で明るい生活を送るきっかけになります。	● <b>とき</b> 5月22日(日)、午前9時から正午まで ※コース、集合場所などは申し込み締切り後に参加者に連絡します。 ● <b>申込締切</b> 5月17日(日)まで	● <b>小中学生</b> 無料 ● <b>高校生以上</b> 200円
<b>スポーツ吹矢体験教室</b> 宮若市で行う初めてのスポーツです。腹式呼吸と胸式呼吸で、健やかな体づくりをすることが目的です。	● <b>とき</b> 6月6日(日)、午後1時30分から3時まで ● <b>ところ</b> B&G海洋センター ● <b>服装</b> 動きやすい服装と体育館シューズ ● <b>申込締切</b> 5月31日(日)まで	● <b>会員</b> 無料
<b>弓道教室</b> 初心者も、経験者も基本から指導します。弓道によって心身共に健康になることを目的とします。	● <b>とき</b> ▷6月の毎週火曜日と木曜日▷7月の毎週火曜日と木曜日、午後6時から8時まで ● <b>ところ</b> 直方市弓道場 ● <b>申込締切</b> 5月25日(日)まで	● <b>会員</b> 3,500円 ● <b>会員外</b> 4,500円(保険料は別途徴収します)

**血液が足りません  
献血へのご協力をお願いします**

若宮コミュニティセンター「ハートフル」で、献血を行います。4月から、献血の基準が新しくなり、男性は17歳から400ミリリットル献血が可能になりました。

	男性	女性
年齢	17歳から69歳まで	18歳から69歳まで
体重	50キログラム以上	
最高血圧	90 mmHg 以上	
回数	年間3回以内	年間2回以内

※ 献血可能な年齢は、65歳から69歳の方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限ります。この他にも、血液の比重などのチェックがあります

- **とき** 5月26日(日)、午前9時30分から午後3時30分まで
- **ところ** 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- **主催** 宮若市献血推進協議会
- **協賛** 宮若ライオンズクラブ
- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

※「今月の健康」の記事については保健センターパレットまで ☎55・6000

**すこやか食育教室で  
楽しく学んでみませんか**

親子で料理を作りながら、幼児期からの食生活を学ぶ教室です。幼い頃から食に接することで、食べ物への大切さを体験するよい機会となります。お子さんと一緒に参加してみませんか。



事前に予約が必要です。(託児もありますので、必要な人は予約時にお申込みください)

- **とき** 5月31日(日)、午前10時から午後1時まで
- **ところ** 保健センターパレット
- **対象者** 就学前の幼児とその保護者
- **申込期限** 5月24日(日)まで
- ※ 定員(10組程度)になり次第締め切ります。
- **申込み・問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

**飯塚病院ふれあい市民講座に  
参加してみませんか**

飯塚病院 検索



自宅でを行う看護や介護、そして看取りの実際を知っていたが、在宅医療という選択肢がより身近なものに感じられるような講演やシンポジウムを行います。

- **とき** 5月21日(日)、午後1時から3時30分まで
- **ところ** イイズカコスモスコモン
- ※ 手話通訳があります。
- **問い合わせ** 飯塚病院ふれあいセンター広報室 ☎0948・29・8892

**看護の心をみんなの心に  
看護の日のつどい**

県では、「看護の心をみんなの心に」をテーマに看護の心、ケアの心を1人ひとりに分かち合っていたくとも、高齢社会を担う若い世代にもその心が受け継がれるよう看護の日のつどいを行います。

会場では、講演会のほかに、AEDと救急蘇生の実演、健康相談や看護師などになるための進路相談なども行っています。

- **とき** 5月14日(日)、正午から開場、午後1時から式典
- **ところ** ナースプラザ福岡
- **講演会** 『人生あきらめたらあかん～足りないものに不平不満を言わず、あるものに感謝～』
- **講師** 市岡裕子さん(ゴスペル歌手)
- **問い合わせ** 福岡県保健医療介護部医療指導課看護指導係 ☎092・643・3276



**総合健診(特定健診・がん検診)を行います**

6月から総合健診がはじまります。健診は予約制です。申し込み期間中に受診を希望する健診をパレットへご連絡ください。自分の健康を過信せず、年に1回はきちんと健診を受診しましょう。

- **とき** 6月15日(日)・16日(日)、午前9時から10時30分まで受け付け
- **ところ** 保健センターパレット
- **申込期間** 5月9日(日)から13日(金)まで
- **申込み・問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000、FAX 52・1660
- ※ 先着順で定員になり次第、締め切りますのでお早めに申し込みをお願いします。
- ※ 健診の年齢基準は特定健診を除いて、平成24年3月31日現在とします
- ※ 健診当日は下記の時間のおり送迎バスを運行します。ご利用の方は予約が必要となりますので、前日までにパレットまでご連絡ください。(中央公民館=午前9時20分発、若宮商工会館=午前9時30分発) 帰りは随時運行します。

種類	対象者	検診料	
特定健診	40歳から74歳までの 宮若市国民健康保険加入者	500円	
健康診断	18歳から39歳までの人、 40歳以上で医療保険未加入者	500円	生活保護受給者は 無料です
肝炎ウイルス検査	40歳以上の人	700円	生活保護受給者、 非課税世帯、 70歳以上は 無料です
胃がん検診	18歳以上の人	500円	
大腸がん検診		300円	
肺がん検診		100円	
子宮がん検診	18歳以上の女性	400円	
乳がん検診	視触診	18歳以上の女性	100円
	マンモグラフィ	40歳以上の女性 マンモグラフィを希望する人は視 触診も合わせて受診します	400円

**ベーコン忘れちゃだめよ!**  
パット=ハッチンス作、偕成社



おつかいを頼まれた男の子は、忘れないように何度もくり返すうちに、あれれ…? 全部きちんと買ってこられるかな。

**どうぞのいす**  
香山美子作、ひさかたチャイルド



うさぎさんが作った、「だれでも座ってください」といういすに、ロバさんが荷物を置いてお昼寝する間に、荷物が変わっていきます。

**ペンギンさん**  
ポリー・ダンバー作・絵、フレーベル館



男の子が誕生日にペンギンをもらいます。頑張って話しかけてもペンギンさんは返事をしません…。かわいイラストに癒される1冊です。

## New Books Coming up

5月といえばゴールデンウィーク  
お休みの日をきっかけに  
ゆっくりと絵本を楽しんでみませんか。  
今月は司書おすすめの絵本を紹介します。

**10人のゆかいなひっこし**  
安野光雅著、童話屋



10人の子どもたちが1人ずつ引っ越しを始めます。文章のない絵本で、最初から読んでも最後から読んでも楽しめます。

**悲しい本**  
マイケル・ローゼン著、あかね書房



悲しいとはどういうことなのか。最愛の息子を失った父親の悲しみを、何も飾ることなくそのまま表現した1冊です。

**ものすごくおおきなプリンの上で**  
二宮由紀子文、中新井純子絵、教育画劇



ものすごく大きなプリンの上でみんなで縄跳びをしたら、一体どうなるでしょう? いろんな想像に思わず吹きだす絵本です。

**つきのぼうや**  
イブ・スパング・オルセン作・絵、福音館書店



家に帰るとほっとする。学校で仕事であった嫌なことを忘れて、安心できるのが家族。そんな家族たちを集めた写真集です。

**ともだちや**  
内田麟太郎作、降矢なな絵、偕成社



きつねのはじめた「ともだちやさん」。1時間、百円でともだちになってあげるのです。でも…ともだちって売れるの? 買えるの?

**うさぎがそらをなめました**  
あまきみこ作、黒井健絵、フレーベル館



えりこが野原に落とした空色のハンカチをみつけた3匹のうさぎたちは「そらがおちたのかあ」と大さわぎ…。

- 5月の休館日 ▶ 中央公民館図書室=2日~5日、9日、15日、23日、26日、30日
- ▶ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」図書室=9日、16日、23日、26日、30日

## 若宮コミュニティセンター図書室におはなし隊がやってきた

五百冊の絵本を積んだキャラバンカーが宮若へ



開館して一カ月が経過した若宮コミュニティセンター「ハートフル」の図書室。多くの皆さんに利用していただき、今後も二万冊を指して本を増やしていく予定です。  
今回、グランドオープンイベントの一つとして

4月23日、「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」による楽しいおはなし会を行いました。  
午後2時過ぎに若宮コミュニティセンター「ハートフル」に現れたのはオレンジのキャラバンカー。中には五百冊を超える絵本が



蔵書されているとのこと。子どもたちは思い思いの1冊を選んでお母さんと一緒に楽しんでいました。  
今回のおはなし隊の隊長は谷道子さん。「講談社が創業九十周年記念事業として平成11年から行っている事業です。これらキャラバ



図書館は気軽に本と出合える場所でもあります。私たちの活動を通して、もっともっと本の存在が身近になってくれたらいいですね」と話してくれました。

ンカーなどは社員のアイデアによるもので全国の都道府県をまわって子どもたちが大好きな絵本や紙芝居などの読み聞かせを行う夢のある事業なんです。  
宮若市では若宮コミュニティセンター「ハートフル」の図書室の他に、今新しい図書館を建設しているとお聞きしました。

4 読み聞かせには50人を超える子ども達が集まり読み聞かせを楽しんでいました。5 紙芝居はみんなが知っている三匹の子豚。谷隊長自ら読み聞かせました。

### 毎月更新 ■ 今月の図書館を核とする生涯学習施設

いよいよ建設が始まった図書館を核とする生涯学習施設。このコーナーでは、図書館が出来上がっていく様子を毎月同じ場所から撮影し、皆さんにお伝えしていきます。

基礎にコンクリートが流込まれたことで建物の輪郭が見えてきました。これからいよいよ建物本体の工事に入っていくものと思われます。本当に楽しみです。【広報担当H】  
● 撮影日 4月25日  
● 撮影場所 広域消防本部



### Talk; a Meeting

#### 6月のおはなし会

- とき 6月4日 土 午後2時から
- ところ 中央公民館児童室
- ※ おはなし会に参加するとシールがもらえます。楽しいおはなしをたくさん用意していますので足を運んでみませんか。
- 問い合わせ 本庁図書館・文化振興係 ☎32・0123









雪化粧に覆われた旧校舎。昭和15年に建築されました。当時は戦争中ということもあり物資が少ないなか建てられました。

### 若宮南小学校旧校舎

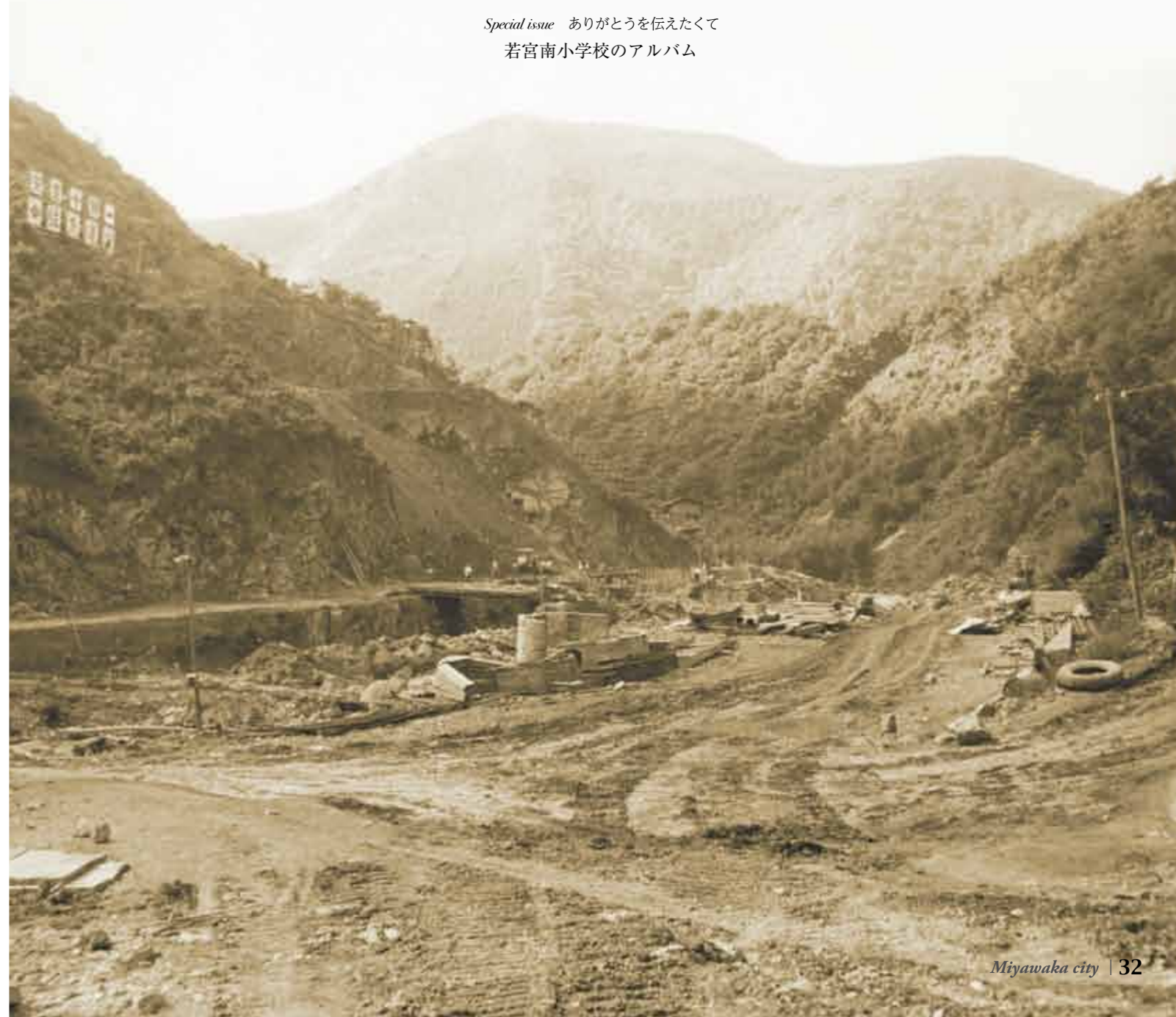
*Special issue* ありがとうを伝えたくて  
かけがえない瞬間

昭和61年は新校舎へ竣工の前年となります。一部写真に傷が入っていますが旧校舎全体が写っている航空写真として貴重な1枚となります。



# かけがえない瞬間と さ

*Special issue* ありがとうを伝えたくて  
若宮南小学校のアルバム





現在は力丸ダム湖底に沈んでいる力丸地区。昭和40年に完成したことにより、当時4人の児童が転校することにより、真っ赤な三瀬橋までお別れの遠足を行いました。



力丸ダム建設中の工事風景。重力式コンクリートのダムとして6年の歳月をかけて完成しました。

Special issue ありがとうを伝えたくて  
かけがえない瞬間

日吉地区のあの日の光景



何気ない日常の風景にこそ、その時代を物語るものはありません。東中畑バス停の前で撮影された一枚の集合写真。昭和40年のもの。路線バスの車両も今では見ることが難しい型式のバスです。「山の学校」と言われるとおり若宮南小学校がある日吉地区は山々に囲まれています。そのため冬は深い雪に囲まれます。白銀の世界に包まれた幻想的な一面も見せてくれます。





昭和35年、50期生の卒業写真。服装も着物から洋服へ変わっています。この年の全児童数は126人となっています。

Special issue ありがとうを伝えたくて  
かけがえない瞬間



第1期生の卒業記念写真。明治44年3月に撮影されたものです。目線はずしている人がたくさんいます。心まで写されないためとのことで、当時の写真ではよく見ることができます。

## 卒業式

平成22年、100期生の卒業写真。若宮南小学校最後の卒業生となった阿部智也さんと川上達也さん。1,489人の卒業生を輩出しました。



大正10年、11回期生の卒業写真です。まだ服装は明治時代とおおきく変わることはありませんが、全員がカメラ目線になっています。





旧校舎での最後の記念撮影。当時の全校児童は42人程度でした。



冬はまきのストーブを囲んで授業を行っていました。

Special issue ありがとうを伝えたくて  
かけがえない瞬間

## 旧校舎の学校生活



旧校舎お別れへのメッセージを黒板に残した児童たち。  
昭和63年3月に鉄筋コンクリート造りの素晴らしい校舎へ  
と変ぼうを遂げます。

現在の校舎と同様に旧校舎にもケヤキの木がありました。若  
宮南小学校のシンボリックな存在でもあります。





当時の学校施設では珍しく、天井から採光をとれる校舎となっていました。

Special issue ありがとうを伝えたくて  
かけがえない瞬間



昭和63年、若宮南小学校建設委員を始め、若宮町幹部、議会などの関係者のもと落成式が行われました。

新校舎落成

新校舎で迎えた卒業式。若宮南小学校では中学校の制服で卒業式を行います。



体育館では地域の皆さんを交えながらお祝いをしました。





芋掘りでの収穫風景。地域の皆さんと一緒に楽しみました。



Special issue ありがとうを伝えたくて  
かけがえない瞬間

田植えの授業風景。自然豊かな日吉地区ならではの1コマでもあります。

## 学校生活

若宮南小学校だから学べること、体験できることがあります。児童数が少ないことから、地域の皆さんと一緒にイベントを行ってきました。ひよしフェスタの前進である学習発表会は、児童たちの成長を垣間見ることができる機会でもあります。また、プールも地域の皆さんの支援のもと屋根付きの素晴らしい施設が完成しました。





日吉集会所で行われていた学習発表会。母親部の皆さんによるコーラスが披露されていました。

若宮南小学校ではしめ縄づくりが伝統として行われてきました。講師はもちろん地域の皆さんです。



## 地域の存在

新校舎が完成して初めて行われた運動会。地域の皆さんを交えて盛大なイベントとなりました。



平成12年度には優良PTA文部大臣表彰を受賞し、祝賀式典が行われました。これまでの役員さんの活動が評価されたものです。



もちつき大会もPTAの皆さんを始め、学校を中心に地域のつながりが広がっていました。



新校舎完成から10年が経過するにあたって記念行事を企画するPTAの皆さん。毎晩遅くまで会議を行いました。





若宮南小学校旗

## 編集を終えて

百年の歴史と伝統に思わずすくんでしまいそうな思いの中、限られた時間の中で挑んだ今回の特集。卒業生や地域の皆さんにとって「学校がなくなってしまう」というのはどのような思いなのか。さびしさだけでなく思いなど、皆さんの取材と膨大な資料を前にその一端でも取材できたらと思ひ取り組みました。

今月号のタイトルにもある「ありがとう」。これは取材をさせていただいた皆さん全員が若宮南小学校に伝えたい思いであることは私自身にも伝わってきました。そしてそんな皆さんが見据えていたのは、この学校の未来のこと。明日の地域のあり方を思う気持ちでした。急なお願いに快く取材をさせて頂いた皆さんに感謝して、今月号をゆつくりと閉じさせていただきます。



## 若宮南小学校校歌

作詞、作曲 三角嘉走（第十三回卒業生）

- 一 窓辺に近く峰せまり  
谷間の流れ 水清く  
心の中も 澄むところ  
我等の 若宮南校
- 二 健康叡智 勤労の  
教への道に いそしみて  
文化の光 さすところ  
我等の 若宮南小
- 三 世界に続く 空仰ぎ  
手をとりかわし 共々に  
希望の華の 咲くところ  
我等の 若宮南校





若宮南小学校を思う一人ひとりの皆さんへ…  
*Wakamiya south elementary school is not forgotten.*

# 一人ひとりの 思いをのせて…